

## 2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月12日

上場会社名 株式会社チームスピリット 上場取引所 東  
 コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 荻島 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO (氏名) 虎見 英俊 TEL 03-4577-7510  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	1,831	16.6	△22	—	△25	—	△10	—
2022年8月期第2四半期	1,571	10.5	1	△99.4	△1	△101.0	△24	△124.2

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 △8百万円 (△60.1%) 2022年8月期第2四半期 △22百万円 (△121.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	△0.63	—
2022年8月期第2四半期	△1.53	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	3,568	1,565	43.9
2022年8月期	3,364	1,534	45.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 1,565百万円 2022年8月期 1,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00			
2023年8月期（予想）			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	15.0	△250	—	△250	—	△170	—	△10.36
	～3,800	16.5	～△200	—	～△200	—	～△115	—	～△7.01

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 2023年8月期の連結業績予想については、事業環境の変化による影響を鑑み、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	16,408,100株	2022年8月期	16,284,600株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	4,615株	2022年8月期	1,915株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	16,301,102株	2022年8月期2Q	16,260,452株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理の高度化、勤務状況の可視化、経費精算等各種業務フローのデジタル化を1つのサービス内で実現し、クラウド環境を通してお客様に提供するERPのフロントウェア「TeamSpirit」並びに「TeamSpirit EX（注1）」を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、2019年4月の「働き方改革関連法案」の施行を受け、各社において厳格な勤怠管理が求められるようになり、さらに新型コロナウイルスの感染拡大を契機にして、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する国内企業の関心が高まる中、経営戦略と連動した人材戦略を実現するために、「勤怠」や「工数」データを生産性指標として活用することが期待されています。また引き続き、多くの企業において生産性向上に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みがさらに加速するものと予想されます。特にエンタープライズ企業（注2）では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレース需要が高まっています。従来、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS（注3）への関心が高まっています。当社グループは、このようなエンタープライズ企業におけるDXニーズに応えるため、エンタープライズ企業向けの「TeamSpirit EX」を2021年3月1日より本格的に販売しております。そして、「エンタープライズ市場開拓戦略（注4）」を成長戦略の柱に据えて、製品開発、マーケティング、営業の各領域に積極的な投資を行っております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

ライセンスの受注状況に関して、エンタープライズ及びミッドセグメント（注5）での新規受注及び追加受注が堅調に推移したことで、当第2四半期連結会計期間における契約ライセンス数の純増は18,560ライセンス（期初からの純増数は27,058ライセンス）となり、累計の契約ライセンス数は409,104ライセンス（前年同期比15.2%増）となりました。これに伴い、ARR（注6）は3,104百万円（同14.0%増）となりました。また、当第2四半期連結会計期間における契約社数の増加は46社となり、累計で1,728社となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は合計で1,831百万円（前年同期比16.6%増）となりました。ライセンス売上高は、エンタープライズ及びミッドセグメントの受注が好調に推移し、また解約率も低位で推移したことから1,494百万円（同14.9%増）となりました。プロフェッショナルサービス売上高は、導入プロジェクトの受注が堅調に積み上がったことで337百万円（同24.7%増）となり、当初想定を上回る結果となりました。これにより、営業損失は期初の想定よりも縮小し、22百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。なお、外部パートナーを活用した開発投資やセールスを中心とした重点ポジションの採用など、成長投資は順調に進捗しております。親会社株主に帰属する四半期純損失は、10百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円）となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) TeamSpirit EX:2018年より一部のエンタープライズ企業のお客様に先行導入し機能拡張を行ってきた「TeamSpirit WSP (Workforce Success Platform)」を名称変更し、2021年3月1日より本格販売を開始したクラウドサービス。EXは、Enterprise Experience、Expansion、Extend、Exceedを連想させる略語。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200～999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) エンタープライズ市場開拓戦略:エンタープライズ企業におけるERPのフロントウェア(勤怠管理、工数管理、経費精算、ワークフロー等)は、手組みのスクラッチシステムやオンプレ型のパッケージシステムなどの利用が大半であり、それらのシステムをリプレイスしていく戦略。

(注5) ユーザーセグメントの定義は以下のとおり。

セグメント名称	定義
エンタープライズ	1社あたりの契約ライセンス数が1,000ライセンス以上の企業
ミッド	1社あたりの契約ライセンス数が200～999ライセンスの企業
スモール	1社あたりの契約ライセンス数が199ライセンス以下の企業

(注6) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の「TeamSpirit」(関連製品を含む)及び「TeamSpirit EX」(関連製品を含む)のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものの。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,568百万円となり、前連結会計年度末から204百万円増加しました。

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,978百万円となり、前連結会計年度末から158百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は590百万円となり、前連結会計年度末から45百万円増加しました。これは主に、繰延税金資産の増加によるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,003百万円となり、前連結会計年度末から173百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,565百万円となり、前連結会計年度末から30百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少したものの、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により結果として増加したものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加(前連結会計年度比2.0%増)しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は46百万円(前年同期は59百万円の収入)となりました。これは主に、前払費用の60百万円の増加により支出した一方で、受注拡大に伴い繰延収益が160百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は0百万円(前年同期は2百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は0百万円(前年同期は5百万円の収入)となりました。これは主に、譲渡制限付株式の発行手数料によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の通期連結業績予想は変更なく、売上高3,750百万円～3,800百万円(うちライセンス売上高3,100百万円～3,150百万円)、営業損失250百万円～200百万円、経常損失250百万円～200百万円、親会社株主に帰属する当期純損失170百万円～115百万円を見込んでおります。

また、当社はポストコロナ時代に適したより自由で柔軟な働き方を推進するため、2023年12月に本社の移転を予定しております。これに伴い、2023年8月期において40百万円程度の一時的な移転コストの計上を見込んでおりますが、上記の通期連結業績予想は当該移転コストを含んだものとなっております。

なお、当該業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,409,211	2,458,451
売掛金及び契約資産	17,872	36,093
前渡金	285,507	299,633
その他	107,932	184,900
貸倒引当金	△192	△346
流動資産合計	2,820,332	2,978,733
固定資産		
有形固定資産	50,860	46,653
無形固定資産	85	55
投資その他の資産		
繰延税金資産	318,266	368,111
その他	175,154	175,182
投資その他の資産合計	493,421	543,293
固定資産合計	544,366	590,001
資産合計	3,364,699	3,568,735
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,498	5,769
未払法人税等	15,545	46,086
繰延収益	1,418,332	1,578,764
賞与引当金	22,247	21,812
その他	367,368	350,645
流動負債合計	1,829,992	2,003,078
負債合計	1,829,992	2,003,078
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	813,375	833,320
資本剰余金	803,375	823,320
利益剰余金	△91,922	△102,128
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,524,319	1,554,004
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,387	11,652
その他の包括利益累計額合計	10,387	11,652
純資産合計	1,534,706	1,565,656
負債純資産合計	3,364,699	3,568,735

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	1,571,157	1,831,927
売上原価	1,035,393	1,155,500
売上総利益	535,763	676,427
販売費及び一般管理費	534,560	699,038
営業利益又は営業損失(△)	1,203	△22,611
営業外収益		
補助金収入	-	301
その他	39	51
営業外収益合計	39	352
営業外費用		
為替差損	2,137	2,475
株式交付費	853	790
その他	193	1
営業外費用合計	3,183	3,266
経常損失(△)	△1,939	△25,525
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,939	△25,525
法人税、住民税及び事業税	56,614	34,534
法人税等調整額	△33,666	△49,844
法人税等合計	22,948	△15,310
四半期純損失(△)	△24,888	△10,215
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,888	△10,215

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純損失(△)	△24,888	△10,215
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,459	1,264
その他の包括利益合計	2,459	1,264
四半期包括利益	△22,429	△8,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,429	△8,950

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,939	△25,525
減価償却費及びその他の償却費	5,592	5,271
貸倒引当金の増減額(△は減少)	195	154
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,248	△435
受取利息及び受取配当金	△12	△11
補助金収入	—	△301
株式交付費	853	790
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	2,374	△18,792
前渡金の増減額(△は増加)	△9,049	△14,125
前払費用の増減額(△は増加)	△46,342	△60,625
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,348	△729
繰延収益の増減額(△は減少)	191,696	160,432
その他	18,950	△15,827
小計	163,219	30,273
利息及び配当金の受取額	12	11
補助金の受取額	—	302
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△103,452	15,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,779	46,532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,056	△701
その他	—	△204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,056	△905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,356	—
その他	—	△790
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,356	△790
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,203	4,403
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65,283	49,240
現金及び現金同等物の期首残高	2,447,990	2,409,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,513,274	2,458,451

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ19,945千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が833,320千円、資本剰余金が823,320千円となっております。